



ターゲット

■情景や様子をつかもう。

■登場人物の気持ちを会話や行動からつかもう。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

なんとという光景だったでしょう！

細長い十二本のクレヨンたちが、時計の数字のように、まん丸くならば、会議でも開いているようなのです。

クレヨンたちは、めいめいの色の洋服と、くつと、どんがりぼうしをかぶり、かみの毛の色も、それぞれにちがっていました。

そして、よく見ると、そのえんじんのまん中に、トカゲのようなへんな動物がすわっていました。それは、十二色のたてじまのうわぎをきて、十二色のよこじまのズボンをはき、近眼らしいめがねをかけた、カメレオンでした。クレヨンたちは、カメレオンがなにかしゃべるのを、いっしょうけんめい、きいているようです。

ユカも、耳をすませました。

すると、木の葉のすれあうようなサヤサヤという音が、だんだん、はっきりした声になってきこえはじめました。「たいへんなことになった。」と、カメレオンは、年をとったいかめしい声で、十二本のクレヨンにいいました。

「よいか、心をおちつけてきてもらいたい。いまから十時間まえ、わがゴールデン王さまが、とつぜん、どこかへいってしまわれたのじゃ。つまり、家出をなすったのだ。」
クレヨンたちは、おどろきのあまり、そのからだほどに

Step ポイントをつかもう！

■ ユカが見た光景として最も適切なものに○をつけなさい。

ア 王さまをまん中にして、十二色のクレヨンがまん丸くならんでいる。

イ カメレオンをまん中にして、十二色のクレヨンがまん丸くならんでいる。

ウ 王さまと王妃を前にして、十二色のクレヨンが一行にならんでいる。

エ カメレオンと十二色のクレヨンが一行にならんでいる。

Hop キーワードをさがそう！

(1) カメレオンのことばを聞いたときのクレヨンたちの気持ちを表すことばを文章中から四字で抜き出し、⁽¹⁾ で囲みなさい。

(2) 「王さまがいなくなれば」で始まる会話文の話し手はだれか。文章中から抜き出し、⁽²⁾ で囲みなさい。

(3) カメレオンが考える「たいへんなこと」とは、王さまがどうしたことを指しているか。文章中から二字で抜き出し、⁽³⁾ で囲みなさい。

(4) ユカが見た光景とは何だったのか。文章中から九字で抜き出し、⁽⁴⁾ で囲みなさい。